

クルーズサマリー

1. 航海情報

1) 航海番号・使用船舶：NT13-06/なつしま

2) 航海名称：平成 24 年度研究船利用公募「なつしま/ハイパードルフィン」
調査潜航

3) 首席研究者：吉田尊雄(独立行政法人 海洋研究開発機構)

4) 研究課題者と課題名：

課題 1:「深海性二枚貝類の共生細菌伝達様式の解析」提案者：吉田 尊雄 (海洋研究開発機構)

課題 2:「ホネクイハナムシ類の真の形態を探る-核磁気共鳴画像法 (MRI) を用いて」提案者：藤原 義弘 (海洋研究開発機構)

課題 3:「深海生物の蛍光撮影技術の開発」提案者：古島 靖夫 (海洋研究開発機構)

課題 4:「化学合成生態系のメガベントスを宿主とする寄生性真核微生物の探索」提案者：瀧下 清貴 (海洋研究開発機構)

課題 5:「極限環境生物の生命多様性に基づく糖鎖関連分子に関する資源探査」
提案者：大関 泰裕 (横浜市立大学大学院)

5) 航海期間：2013 年 3 月 24 日-3 月 30 日

6) 出港地-帰港地の情報：JAMSTEC 岸壁 (2013 年 3 月 24 日)- JAMSTEC 岸壁 (2013 年 3 月 30 日)

7) 調査海域名：相模湾初島沖および熱海沖

8) 調査マップ：航跡図(図 1)

9) 乗船研究者：藤原 義弘、古島 靖夫、本郷 悠貴、生田 哲朗、野牧 秀隆、瀧下 清貴、矢吹 彬憲、野口 文哉、宮崎 征行、笠井 彩香 (海洋研究開発機構、海洋・極限環境生物圏領域)、篠野 雅彦 (海上技術安全研究所)、鈴木 貞男 (Oceanographic Research Engineering)、大関 泰裕、小出 康裕 (横浜市立大学)、小島 理明、藤尾 美沙希 (横浜市立横浜サイエンスフロン

ティア高等学校)、伊藤 雅士 (日本海洋事業(株))

2. 実施内容 :

本航海では、5 課題の相乗り航海を実施した。それぞれの課題目的を実施するために、相模湾初島沖及び相模湾熱海沖にて、7 日間潜航を行った。航海中にシロウリガイ類、シンカイヒバリガイ類、チューブワーム類、鯨の骨をサンプリングし、採泥を行った。詳しい解析は、今後行う予定である。また、生物の蛍光観察や鯨骨生物群集の理解のために、タイムラプスカメラによる観察を行った。

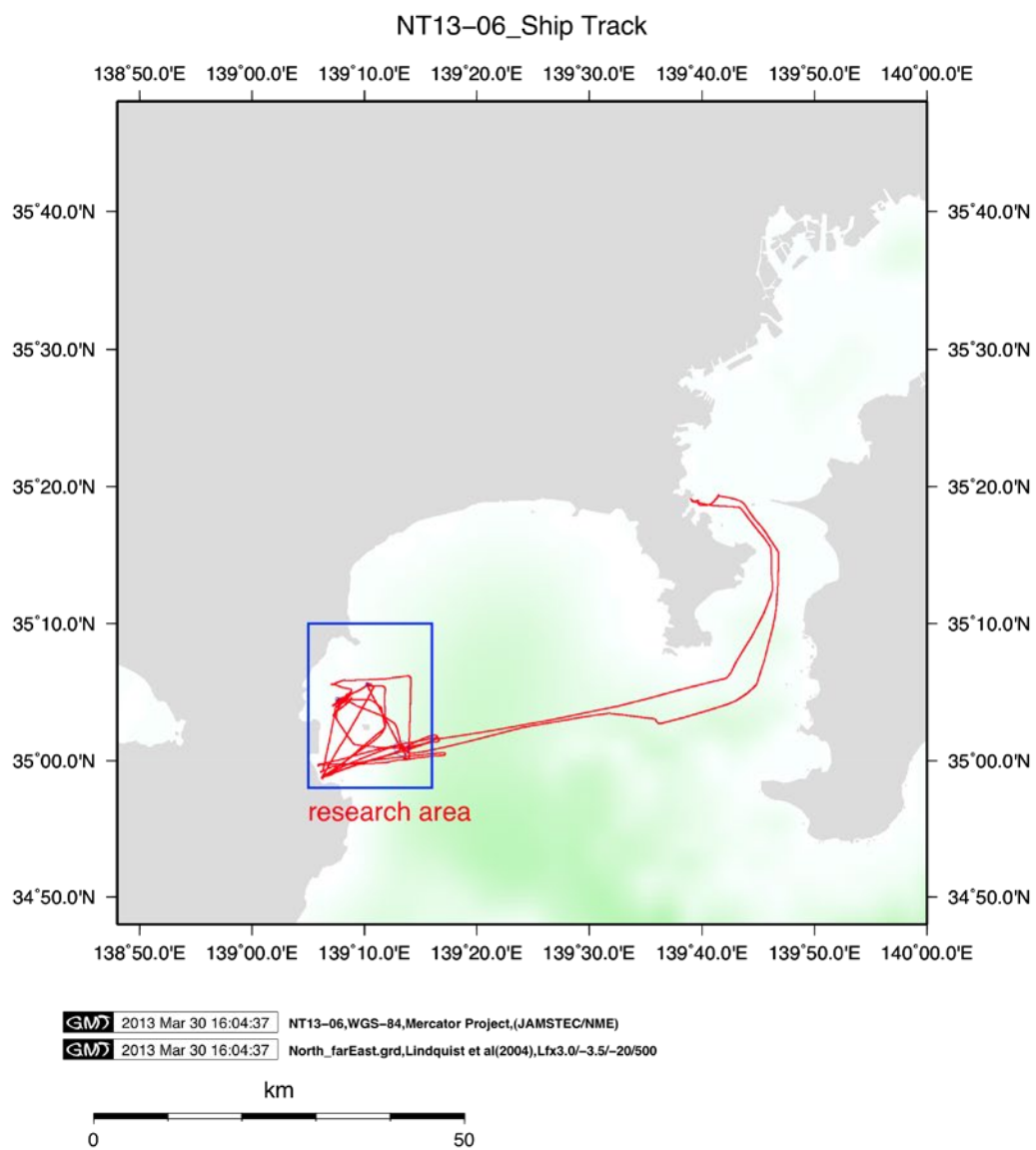


図1 NT13-06の航跡図